

主催：社会福祉法人カメラア会
協賛：NPOヘルスケアデザインネットワーク

参加費
無料

第四回

健康談話シリーズ

「理想的な死に方とは」

2025年 1月14日 火

開催時間 | 14:00～16:00

開催場所

- 千代田区いきいきプラザ一番町 (東京都千代田区一番町12)
地下1階 カスケードホール

申込方法

- 下記問い合わせ先から事前にご予約をお願いします。
<https://forms.gle/m2RmHo4r1dastXuu7>

講師

- 黒木 登志夫 先生
日本学術振興会学術システム研究センター 顧問

講師略歴

1960年東北大学医学部卒。インターンを経てがん研究に入る。東北大抗酸菌病研究所（現加齢医学研究所）肺癌研究部助教授(1967年)、東京大学医科学研究所癌細胞研究部助教授(1971年)を経て、1984年から1996年まで同教授。この間、米国ウイスコンシン大学に留学(1969-1971年)、WHO国際がん研究機関（フランス・リヨン市）に勤務した(1975-1978年)
1996年3月東京大学退官C 1996年4月より2001年5月まで昭和大学腫瘍分子生物学研究所所長。
2001年6月より岐阜大学長。2008年4月より日本学術振興会学術システム研究センター副所長、2012年4月より現職。



事前予約
問い合わせ

千代田区いきいきプラザ一番町
☎ 03-3265-6311

ご予約は右記QRコードから→

※取得しました個人情報は本講演会の出席確認と情報提供の為にのみ使用し、第三者に提供いたしません。



プロフィール

◆専門

発がんとかん細胞の細胞生物学

◆主な受賞

1970年 | 試験管内発がん実験成功により、第4回高松官妃癌研究基金学術賞受賞。

1998年 | 日本癌学会吉田富三賞（試験管内発がん、シグナル伝達研究、がんの解説書に対して）

◆学会会長

2000年 | 日本癌学会会長

◆発表論文著書

英文発表論文：約240編

著書

朝日選書284、朝日新聞社 | 1989年

- がん細胞の誕生

中公新書1290、中央公論社 | 1996年

- がん遺伝子の発見

朝倉書店 | 1984年

- 科学者のための英文手紙の書き方

（編）日経サイエンス社 | 1996年

- 細胞内のシグナル伝達

羊土社 | 1999年

- 分子生物学のための、新培養細胞実験法

（編）岩波書店 | 1999年

- 岩波講座・現代医学の基礎 細胞増殖とがん

（編）羊土社 | 2001年

- 癌治療の最先端に迫る

中公新書 | 2007年

- 健康・老化・寿命

中公新書 | 2024年

- 死ぬということ 医学的に、実務的に、文学的に

